

## 地域の医療提供体制に関するアンケート結果【別紙】

区域	病院名	2-①「現在担っている医療」 2-②「今後担っていききたい医療」
仙南	公立刈田総合病院	①「救急（急性期）」「回復期」「健診事業」「透析医療」を当院が担うべく主軸機能と考えている。 ②同上。
仙南	医療法人浄仁会 大泉記念病院	①24時間門を閉ざすことのない地域医療を根幹とし、救急対応、慢性期医療を行っている。みやぎ県南中核病院・公立刈田総合病院及び在宅、施設等の後方支援、健康診断等の予防医療も担っている。 ②訪問診療・看護・地域包括医療。
仙南	医療法人安達同済会同済病院	①地域医療及び在宅療養支援病院における在宅医療、施設入所者への医療。 ②引き続き上記医療の提供。
仙南	蔵王町国民健康保険蔵王病院	①一次医療を中心とする、いわゆる「かかりつけ医」と同様の性格を有する医療機関として運営する一方、休日・時間外診療や入院設備を備えている。また、高度医療を要する患者は当院から二次医療機関への転院を図り、患者の様態が安定期に入ったら二次医療機関から当院または在宅医療に移行できる体制を構築し、二次医療機関の後方支援を行っている。 ②開院当初からの目的である医療機関が存在しない地域における医療の提供を継承し、不採算地区病院となった現在、地域住民（患者）が安全・安心な生活を営めるよう必要とする医療を提供する。
仙南	みやぎ県南中核病院	①高度急性期医療＋急性期医療（310床：ただし、緩和病棟12床を含む） ②高度急性期医療＋急性期医療（310床：ただし、緩和病棟12床を含む）
仙南	国民健康保険川崎病院	①中核病院などで対応するまでもない高齢者、末期患者（癌ばかりでなく）などをメインに対応する医療を提供していきたい。仙台市や中核病院でその医療の範囲を越えた超高齢者などを受け取りリハビリして施設に入所できるようにする。しかし進めていくのがなかなか難しい。また在宅の後方支援は行っている。一次救急を積極的に受け入れて中核病院の負担を減らすようにしている。 ②医療福祉士などの人材を採用し当院で亜急性期、回復リハ後すみやかに施設入所または在宅に持っていきたい。当院はこの川崎地区で唯一訪問診療も行っている。また積極的に高齢者医療も担っていきたい。
仙南	丸森町国民健康保険丸森病院	①（1）一次医療機関及び二次医療機関、救急告示医療機関として、住民の健康を守り、安心して生活できる医療（「全身を診る医療」、「訪問診療」、「入院診療」）の提供を行っている。（2）他の高次医療機関と連絡・調整を図りながら、そこで医療を終えた回復期や慢性期の入院患者の受け入れを行っている。（3）病気を早期発見し、早期治療につなげるため、特定健診をはじめ、人間ドックなどの各種検診事業（予防医学）を実施している。 ②現在になっている医療の継続。回復期、慢性期医療の充実。
仙南	医療法人社団北社会船岡今野病院	①1. 基幹病院から症状の落ち着いた方、在宅復帰を目指す方を対象とする医療 2. 地域の無床診から入院を必要とする方を対象とする医療 3. 在宅療養支援病院 ②原則的に現在と変わらないが、回復期医療に注力したい。そのため今後は退院調整機能を強化して行く。
仙南	医療法人金上仁友会金上病院	①・地域包括ケアシステムを支える役割である地域包括ケア病棟により、急性期医療を経過した患者即ちポストアキュート及び在宅において療養を行っている患者、即ちサブアキュートや教育入院等の受入と患者の在宅復帰支援を行う医療機能。 ・病状が安定している長期療養患者等のうち、密度の高い医学的管理や積極的なリハビリテーションを必要とする患者への医療機能。 ・在宅医療（訪問診療、訪問看護等）の充実も図っている。 ・地方においても質の高い医療提供のため、大学等と連携し各種専門外来を開設、特に消化器内視鏡の分野では、最先端の医療を提供している。 ・各種検診、人間ドック等の予防医学にも積極的に取り組んでいる。 ・特に日中においては、救急疾患の受入も可能な限り行っている。 ②・今、行っている医療を更に充実させて行くと同時に、地域包括ケアシステムの深化につながる医療を目指す。

区域	病院名	2-①「現在担っている医療」 2-②「今後担っていききたい医療」
仙台	東北大学病院	①高度急性期医療及び急性期医療。 特定機能病院として高度先進医療はもとより、特に市中病院では診療が難しい希少疾患や難病に取り組むなど、一般医療の難しい部分もカバーする東北地方の「最後の砦」機能を担っている。 ②これまでと同様、高度急性期医療及び急性期医療、ならびに東北地方の「最後の砦」機能を担っていききたいと考えている。 特に当院は特定機能病院であるとともに臨床研究中核病院でもあることから、それに相応しい最先端医療の開発を進め、出来る限り早期に最先端医療を患者さんに提供していくことも必要であると考えている。さらに臨床研究の実績、都道府県がん診療連携拠点病院としての実績を評価され、平成30年2月にがんゲノム医療中核拠点病院に選定されたので、最新のがん医療開発を一層推進していききたいと考えている。
仙台	宮城県立こども病院	①東北唯一の小児高度専門医療施設として、NICU、MFICUをはじめとした小児周産期医療の高度な専門知識と技術に支えられた良質で安全な医療を提供している。 需要は県内外からあり、脳神経外科、泌尿器科や整形外科などは東北を中心に、遠隔地から多くの患者を受け入れている診療科も少なくない。また、2016年に拓桃医療療育センターとの統合を果たしたことで、療育やリハビリテーションなど福祉施設の役割も加わり、医療的ケアの必要なこども達やその家族が、第二のわが家として利用している。 ②東北唯一の小児高度専門医療施設としての役割をより充実させていく。 小児分野を中心とした臨床研究の推進。地域における病院、診療所小児科医師との連携の強化と小児医療の2次3次救急の受け入れ体制の充実。増加する医療的ケア児に対し短期入所サービスの提供を通じその家族のケアの提供と地域への関わりの提供を担っていく。
仙台	独立行政法人労働者健康安全機構東北労災病院	①当院は、地域がん診療連携拠点病院、二次救急病院、地域医療支援病院、災害拠点病院の役割を担っており、肺炎、脳・心臓血管疾患、消化器疾患、骨折などの急性期医療・救急医療を提供。地域がん診療連携拠点病院として、がんの検診と診断から手術、化学療法、放射線療法、職場復帰（治療就労両立支援）そして緩和医療までがんに関して総合的な医療を担っている。二次救急病院として全日、入院や手術を必要とする重症救急患者にも対応している。地域医療支援病院として、地域包括ケアシステムに貢献するために在宅復帰支援を円滑に行う目的で、地域包括ケア病棟を設置運用している。地域医療の中核病院として、消化器、乳腺等の「がん疾患」に対する専門医療や内視鏡下手術、また、整形外科の人工関節置換術、耳鼻咽喉科の人工内耳埋込術等の特色ある専門医療の提供。労災病院グループとして、アスベスト疾患への対応、職業性接触性皮膚炎、業務の過重負荷による脳・心臓疾患等の研究を進めるなど勤労者医療の充実に取り組み等政策病院として使命を担っている。 ②現在の診療機能を維持し急性期医療・救急医療・がんに関する総合的な医療を担っていく。
仙台	独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院	①・腎臓疾患の専門医療：初期治療から血液透析、腎移植までの一貫した医療、・糖尿病や閉塞性動脈硬化症による下肢の慢性創傷専門の治療、・難治性の腰痛の一因とされる骨盤の一部「仙腸関節」の痛みの治療、・バスキュラーアクセス全般、・検診事業。 ②・訪問看護ステーションを設置し、在宅支援を計画中。 ・2年後に泉区紫山地区に移転することから、仙台市北部の救急医療の一翼を担う。
仙台	国家公務員共済組合連合会東北公済病院	①急性期・回復期リハビリ・地域包括ケアの3つの病床種別をはじめ、透析センター・人間ドック・訪問看護ST・地域の相談窓口等幅広い診療機能を有効活用して、患者及び地域住民のライフステージに寄り添う医療を展開している。 ②当院の診療機能を活かし、近隣の医療機関と連携し、当院がハブの機能を発揮するネットワークの構築に取り組み、地域に根差した病院運営を進めていく。
仙台	仙台厚生病院	①当院では「選択と集中」を基本方針として、心臓血管・消化器・呼吸器の3センターによる高度先進医療・急性期医療が提供可能なシステム構築を行っている。また、救急診療においても3センターが責任を持って受け入れ対応している。 ②仙台区域では、全ての機能が大幅な需要増加が見込まれることから、高度急性期及び急性期機能を維持・充実することが必要と考える。
仙台	早坂愛生会病院	①慢性期医療（全床療養病床）。 ②同上。
仙台	JR仙台病院	①企業立病院として社員・家族と地域のための医療。 ②同上。
仙台	医療法人宏人会 木町病院	①当院は、透析患者専門の病院で、原則として透析関連の患者を中心に受け入れている。 ②今と同じ医療を担う。

別紙

区域	病院名	2-①「現在担っている医療」 2-②「今後担っていききたい医療」
仙台	伊藤病院	①一次・二次救急医療、主に整形外科的外傷骨折など、今後も続けていきたいと思う。但し、長期間の入院、リハビリは出来ない。(急性期ベッドのみのため) ②一次・二次救急等の急性期を減らして回復期を増やしたいが、回復期病床の許可を得るのにハードルが高い。
仙台	仙台エコー 医療療育センター (旧：エコー療育園)	①当院は、重症心身障害児者の医療型長期入所を行っている。また、東北大学病院、宮城県立こども病院などの急性期病院から退院した重症心身障害児者の在宅支援として、医療型短期入所、日中活動支援事業、外来診療、リハビリテーションも行っている。 ②成人期にはいった重症心身障害の患者さんの受け皿となるために、医療型長期入所、医療型短期入所、日中活動支援事業、外来診療・リハビリテーションの規模を拡大したい。また、現在はないが、保護者からの要望が強い一般入院病床を増床したいと考えている。また、在宅支援事業として訪問看護、訪問リハビリテーションを行いたいと考えている。
仙台	平成眼科病院	①網膜剥離、網膜裂孔等緊急手術を要する疾病への対応をはじめ、糖尿病網膜症等への難易度の高い硝子体手術を行っており、広く県内全域から患者を受け入れている。また、眼科疾病の各専門医を配し、眼科領域全般に渡って診療を行い、地域における眼科疾病治療の責務を担っている。 ②今と同じ医療を担う。
仙台	仙台中江病院	①1 神経難病患者の入院治療とリハビリ。2 往診医から依頼による在宅療養患者レスパイト入院。3 画像診断等の依頼検査と診断。4 神経疾患患者の薬量調整。5 療養院等の長期入院施設への待機。6 救急病棟の後方病床。 ②特記すべきものなし。
仙台	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	①当院は国の政策医療ネットワークにおける東北地区のがん、循環器病及び成育医療の基幹医療施設に、精神、腎、内分泌・代謝、感覚器、骨・運動器、血液及び肝疾患の専門医療施設に、その他の政策医療としてエイズ及び国際医療協力が付与された高度総合医療施設として位置付けられている。更に宮城県の基幹災害医療センターとして指定され、災害時における医療等の確保を行う役割を担っている。 ②宮城県の三次救急医療機関及びドクターヘリ基地病院のひとつとして、新病院建替えに合わせて救命救急センターの拡充(18床から30床)を行い、更なる救急患者受け入れ体制の充実を図る。仙台区域において引き続き神経系疾患への対応を中心とした高度急性期機能の提供を維持する。東北地区のがん、循環器病及び成育医療の基幹医療施設として、手術、化学療法、放射線治療など集学的な治療を行う高度急性期及び急性期機能を維持する。地域医療支援病院として、引き続き、地域との更なる連携を深め、地域医療に貢献する。
仙台	東北医科薬科大学病院	①・急性期医療・精神医療・救急患者の受け入れ。 ②これまでの地域医療支援病院として急性期を中心とした地域医療を担っていくとともに、救急医療の充実と、大学病院としての高度の先進的医療を担うように努める。
仙台	公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院	①消化器・循環器・呼吸器疾患における高度急性期医療、二次救急の受け入れ。 ②上記に加え、緩和ケアに対する整備。
仙台	安田病院	①精神疾患をお持ちの一般科医療。 ②精神疾患をお持ちの一般科医療。
仙台	中嶋病院	①急性期(101床)特に救急医療に力を入れており、年間3500件の救急車を受け入れている。高齢者の骨折が多く、リハビリも継続して行っている。 ②今と同じ医療を続けたいと考えている。
仙台	東北医科薬科大学若林病院	①・急性期・地域包括ケア・リハビリテーション(特に呼吸器)・人工透析。 ②・今と同じ医療を担うが、将来的に、回復期機能の充実についても検討していく。
仙台	仙台整形外科病院	①整形外科疾患に関わる手術を中心とした一般急性期医療と在宅復帰に向けた回復期医療のケアミックス診療。専門性の高い整形外科医療。 ②現在と同様の医療。リハビリ可能な認知症患者の医療。
仙台	河原町病院	①当院は、二次救急の登録を行っており、昼夜を問わず患者の受け入れを行っている。一方で療養病棟を保有していることから、他院で治療後の重症者の受け入れも行っており、急性期にも慢性期にも対応できる病院と考えている。 ②現状維持。
仙台	医療法人社団葵会 葵会 仙台病院	①維持・慢性期医療、在宅の後方支援。 ②維持・慢性期を減らし回復期医療へ転換。

区域	病院名	2-①「現在担っている医療」 2-②「今後担っていききたい医療」
仙台	独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院	①・重症心身障害児（者）の病床（80床）は、宮城県内の収容施設として中核的病院として担っている。・筋ジストロフィー病床（160床）は、全国でもトップの病床数で宮城県内の中心的病院として担っている。・高齢者医療については、高齢化によりパーキンソン病等の神経難病や認知症が増加しており、当院では平成27年9月に認知症疾患医療センター（地域型）の指定を仙台市から受けている。・整形外科の脊椎外科分野は県外県内からの安定した紹介がある。 ②今後は、急激に変化する超高齢社会に対応することが必要と考え、その高齢化に伴い増えてくると思われる、認知症、骨折、肺炎、心不全の4分野についての取り組みが必要と考えられる。その中で、当院は認知症及び骨折についての診療を強化することとしている。具体的な取り組みとしては、認知症への対応として仙台市認知症疾患医療センター（地域型）の指定（平成27年9月）、また、加齢に伴う骨折等の障害に対応として回復期リハビリテーションの機能強化（平成27年度）を行ってきた。さらには、障害者への対応として在宅支援の診療実施体制の確立を目指し仙台市からの要望に応えた指定相談支援事業所の設置（平成26年12月）、地域医療の取り組みとして地域包括ケア病棟の取得（平成27年9月・1個病棟）をしてきた。将来は、上記取り組みを継続すると共に当院の病院機能である「急性期機能」（脊椎手術等）、「回復期機能」（地域包括ケア・リハビリ）、「慢性期機能」（神経難病・筋ジス・重心）に沿った医療を行うことを目指す。
仙台	仙台市立病院	①仙台医療圏における中核病院の一つとして、急性期医療並びに救急医療をはじめとする政策的医療の中心的な担い手及び地域医療支援病院としての役割を担っている。 ②他の高度急性期病院の機能を考慮するとともに、回復期、慢性期病院との連携を強化した上で、引き続き高度急性期医療機関として地域医療に貢献する立場を目指していく。また、政策的医療の提供の充実を図るとともに、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携の取り組みを一層推進していく。
仙台	仙台赤十字病院	①・二次救急を対象とした急性期医療（各科）、・運動器の変性疾患・スポーツ障害に対する高度医療、・高度急性期医療（各科）、（整形外科の人工関節など）、・産科の超高度急性期医療、・がん・悪性新生物に対する高度医療、・透析患者に対する（高度）慢性期および急性期（合併症発生時）医療。 ②・がん・悪性新生物に対する医療を増やしたい。 ・小児アレルギー疾患。 ・神経内科による高次中枢疾患の診断・治療力の能力をあげたい。 ・内科および整形外科のリハビリテーション。
仙台	独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院	①消化器疾患、循環器疾患、糖尿病、高脂血症、内分泌、甲状腺疾患、整形外科疾患、泌尿器疾患、リハビリテーションなど、日常臨床で頻度の高い疾患を中心に医療を提供している。 ②今と同じ医療を担う。
仙台	一般財団法人広南会 広南病院	①仙台市のみならず宮城県（一部東北地方10%程度）における脳神経および脳・頸部血管疾患の高度専門的医療を担っている。また、地域の急性期脳卒中患者の救急および高度専門治療を行っている。 ②上記の現状医療体制を継続する。そのうえで、今後さらに増加する高齢脳卒中患者の急性期治療需要増大を見越し、急性期病床機能は維持しつつ、当院受け入れ患者の在宅復帰ないし介護施設等の受け入れ促進のための回復期病床を具備する予定。
仙台	公益財団法人宮城厚生協会 会長町病院	①脳卒中や大腿骨頸部骨折を中心とした回復期機能、高齢者・要介護者を主な対象とした比較的軽症患者の入院機能、訪問診療（在宅療養支援病院）や介護事業（ケアマネ・訪問看護・通所リハ・訪問リハ・仙台市委託の総合事業他）を中心とした在宅援助機能、慢性疾患に対する外来機能などを担っていると判断している。 ②基本的には、現在と同様の役割を担っていく。 医師体制の問題が解決できれば、地域包括ケアに関わる外来・在宅医療機能をさらに強化したい。
仙台	医療法人松田会 松田病院	①整形外科を中心とした、急性期寄りのケアミックス。 ②現在の医療機能にプラスして在宅医療や終末期医療なども考える必要がある。
仙台	泉整形外科病院	①整形外科の急性期病院。 ②整形外科の急性期病院。
仙台	塩竈市立病院	①消化器を中心として、救急患者の受け入れなど急性期から、地域包括ケア病棟における回復期、療養病棟における慢性期医療を提供しているとともに、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅医療を提供するなど、地域において地域包括ケアシステムの構築に必要な医療を担っている。 ②今と同じ医療を担う。
仙台	公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院	①救急・急性期医療、急性期からのリハビリ、がん診療、小児医療、産科医療、災害医療。 ②現在と同じ医療を担っていききたい。

区域	病院名	2-①「現在担っている医療」 2-②「今後担っていききたい医療」
仙台	東北医科薬科大学名取守病院	①1内科、呼吸器内科、循環器内科 2療養病床62床 3検診等 ②当面は現状の医療機能を維持する。
仙台	総合南東北病院	①・二次～三次救急医療機能、・左記から継続した回復期医療機能、・左記から継続した在宅医療支援 ②・現状維持
仙台	独立行政法人国立病院機構宮城病院	①・広域的に「宮城県神経難病ネットワーク拠点病院」として、パーキンソン病、ALS（筋萎縮性側索硬化症）などの難病を中心に、急性期脳血管疾患から重症心身障害児(者)に対する政策医療など専門医療機関としての役割を担っている。・地域医療では、宮城県沿岸南部に位置する亶理郡内唯一の病院として、地域における一般医療（高血圧、糖尿病など）から急性期医療（脳血管疾患等）を行い、二次救急医療機関として、山元町・亶理町の救急医療を担っている。 ②・今後も現在の機能を維持し充実させていき、広域的に「宮城県神経難病ネットワーク拠点病院」としての政策医療と二次救急医療、在宅療養支援の医療機関として地域医療を担っていく。
仙台	松島病院	①急性期医療及び慢性期医療。 ②急性期医療及び慢性期医療。
仙台	公立黒川病院	①急性期55床、回復期リハビリテーション60床、地域包括ケア病床55床、在宅（訪問診療、訪問看護、訪問リハ、通所リハ）と急性期から在宅まで、黒川郡唯一の公的病院として多岐にわたる地域医療を担っている。 ②現状の医療を担う。
仙台	富谷中央病院	①高齢者（主に在宅、施設など）の救急患者の受入、長期にわたり医療療養が必要な患者の受入、糖尿病など生活習慣病の患者受入、透析患者受入。 ②今と同じ医療を担いながら、生活習慣病の早期発見から治療までさらに進めていきたい。
仙台	医療法人社団赤石会 赤石病院	①二次救急。外傷、脳卒中、容態の増悪した施設、在宅被介護者の受け入れ。 ②上記に同じだが、24時間切れ目のない体制を提供したい。
大崎・栗原	大崎市民病院	①高度急性期・急性期。 ②高度急性期・急性期。
大崎・栗原	大崎市民病院岩出山分院	①急性期を過ぎた地元住民が自宅へ戻るまでのクッションとしての医療提供が多い。 ②地域住民に必要な医療を一貫して提供できる態勢を構築。
大崎・栗原	大崎市民病院鳴子温泉分院	①急性期を担う病院からの紹介により主に回復期から慢性期の状態にある患者の入院を受け入れ、リハビリテーションを実施して在宅復帰や介護保険サービスの利用等につなげている。 ②今後も同様に回復期から慢性期の状態にある患者を中心として医療を提供していくが、周辺地域も含めて人口の減少が進む中であって、より一層、地元へ根差した「かかりつけ医」として、主に周辺地域の患者を医療面で支えていくことになると考えている。 また、地域内の人口動態や受療動向などから見て、現在よりも慢性期機能を担う度合いが増えていくものと推測している。
大崎・栗原	医療法人永仁会 永仁会病院	①急性期医療。 ②急性期医療。
大崎・栗原	公益財団法人宮城厚生協会 古川民主病院	①<入院>高齢者の内科的治療、神経難病・遷延性意識障害者などの寝たきり患者に対する慢性期医療。「地域包括ケア病床」を有しており、急性期治療後の転院受け入れと退院に向けた支援、在宅患者の増悪時の入院に対応した医療も担っている。 <外来>地域的に、在宅診療が十分ではない為、「機能強化型在宅支援病院」を取得し在宅診療にも力を入れている。糖尿病診療では、宮城県地域医療計画の専門医療機関に位置付けされている。大崎・栗原医療圏での専門医療機関は、大崎市民病院・栗原中央病院・古川民主病院の3医療機関となっている。 <後期研修> 基幹型臨床研修病院の坂総合病院と連携し、将来の地域医療を担う若手「総合診療医」の後期研修も受け入れ、育成に力を入れている。 ②<入院>・「地域包括ケア病床」を増床し、在宅退院に向けた支援強化と地域の回復期医療を担っていく。 <外来>・在宅診療を引き続き強化していく。
大崎・栗原	三浦病院	①・在宅医療の後方支援、大腿骨骨折後のリハビリ連携、特に高齢者の急性期医療、長期にわたり療養が必要な患者の受け入れ、末期がんの緩和医療。 ②地域基幹病院・診療所・介護施設と連携し、安定的な急性期・慢性期の医療を担う。
大崎・栗原	古川星陵病院	①急性期医療（救急告示病院）。 ②今後も同じ。

区域	病院名	2-①「現在担っている医療」 2-②「今後担っていききたい医療」
大崎・栗原	星陵あすか病院	①急性期医療後の転院先として役割を担っている。長期にわたり入院治療を必要とする慢性期医療、在宅復帰に向けたリハビリテーションを提供する回復期医療、長期入院透析、リハビリ透析、外来透析。 ②現在と同じ、回復期リハビリテーション病床の設置。
大崎・栗原	公立加美病院	①本病院は急性期から回復期・慢性期における医療の提供を行いつつ、24時間、365日行っている在宅診療を行っている。 ②今の医療を担う。
大崎・栗原	医療法人社団常仁会 東泉堂病院	①在宅医療の不可能な患者の治療。 ②急性期後の在宅復帰までの対処病院。
大崎・栗原	涌谷町国民健康保険病院	①急性期一般（内科疾患）の受入、急性期病院からの受入れ、在宅療養している患者の休息的な受入、医療依頼度の高い患者の在宅復帰に向けた医療や支援。 ②現在と同じ医療や支援を担う。
大崎・栗原	美里町立南郷病院	①美里町の南郷地域には、医療機関が当院だけであり、地域に必要な医療として、急性期機能だけではなく、他の回復期や慢性期といった機能にも対応している。 ②現状を維持して、この地域で必要とされる医療をできる範囲で提供していく。
大崎・栗原	栗原市立栗原中央病院	①急性期。 ②急性期。
大崎・栗原	栗原市立栗駒病院	①主に慢性期、回復期を担っている。 ②今後も地域に根ざした慢性期、回復期を続けていく。
大崎・栗原	医療法人財団弘慈会石橋病院	①回復期機能を担っている。 ②急性期病院からの患者さんをスムーズに受け入れてリハビリ等を行い適切な退院先へ送っていききたい。
大崎・栗原	大崎市民病院鹿島台分院	①地域に根ざした病院として一般医療のほか、救急医療や在宅医療に取り組んでいる。 ②回復期・慢性期医療を中心に、地域包括ケア病床を設定し、大崎市民病院(本院)との機能分担を図りながら、地域における「かかりつけ医」機能の役割を果たす。
大崎・栗原	栗原市立若柳病院	①地域密着型慢性期医療・在宅医療・訪問看護・一次救急、可能な限りの二次救急。 ②今と同じ医療を担う。
石巻・登米・気仙沼	登米市立登米市民病院	①2次救急医療及び手術や急性期の入院・治療を行う一般急性期医療 → 専門性の高い疾患については、大学病院や近隣の高次機能病院より外来応援医師の協力を頂きながら医療提供を行なっている。 ②在宅医療の後方支援機能の充実 循環器・呼吸器病センターの患者の6割が登米市民であるため、同センターの機能移行後においては、その機能についてある程度市内でフォローできる医療体制が必要になると思われる。
石巻・登米・気仙沼	登米市立米谷病院	①1次診療から2次診療にかけて、患者の受入れを行っている。また、積極的に在宅診療も行っており、地域に密着した医療を提供していると思う。 ②30年度末の開院を目指し、一般病床40床と療養病床50床の病院を建築中。登米地域では、医療型の療養病床が少なく市外へ行かざるをえない状況であった。今後は住み慣れた地域の中で市民が望む医療を提供できる病院でありたいと思っている。
石巻・登米・気仙沼	石巻市立病院	①一般急性期患者（救急含む。）の受入（循環器疾患、その他）、在宅医療、療養型病床群併設。 ②へき地医療への取り組み、緩和ケアの実施、リハビリの充実。
石巻・登米・気仙沼	石巻市立牡鹿病院	①本院は、牡鹿地域における唯一の病院として、急性期医療に対応し、緊急医療においては、緊急告示病院及び病院群輪番制にも参加し昼夜を問わず365日急患の受け入れ態勢を整えている。 ②今後の回復期医療や在宅医療等に対応し、地域住民の医療不安の解消と良質な医療の提供を行うことは、地域住民が安心して暮らしていくために重要なことであり、本院としての役割を果たしていきたい。
石巻・登米・気仙沼	石巻赤十字病院	①超急性期及び急性期。 ②超急性期及び急性期。
石巻・登米・気仙沼	医療法人啓仁会 石巻口イナル病院	①・急性期医療機関（特に石巻赤十字病院、仙石病院、他）の後方支援。 ・整形外科（専門：脊椎外科）手術等の高度医療等。 ・急性期・回復期・維持期・在宅に係るリハビリテーション。 ②・今と同じ医療に加えて、在宅事業（訪問診療・訪問看護・通所介護事業所（リハ特化型））の拡充。 ・慢性期（療養病床）を減らし回復期（回復期リハ）亜急性期（地域包括ケア）病床を増やしたい。

別紙

区域	病院名	2-①「現在担っている医療」 2-②「今後担っていききたい医療」
石巻・登米 ・気仙沼	齋藤病院	①地域包括ケアシステムの構築の中で、急性期から回復期、慢性期まで幅広い医療を提供していき、集中的リハビリテーションを行い、在宅への退院・施設入所等に向けて調整を図っている。三次救急の病院の受け皿として、当院で出来る範囲（特に脳卒中をはじめとする神経内科疾患や循環器疾患）の対応をしていかなければならないと考えている。 ②今と同じ医療を担う。
石巻・登米 ・気仙沼	真壁病院	①●高度急性期病院の後方支援機能●急性期機能（医療資源投入量：1,539点／平成29年平均）●二次救急機能●透析医療（外来・入院）●在宅医療 ②●今と同じ医療を担う●急性期→地域包括あるいは療養→地域包括へ変更するか検討中
石巻・登米 ・気仙沼	医療法人社団仙石病院	①急性期医療。 ②急性期医療をできるだけやるが、自然に高齢者救急の比率が高くなると予想している。
石巻・登米 ・気仙沼	気仙沼市立病院	①地域医療の中核病院としての役割。 ②今と同じ医療を行う。
石巻・登米 ・気仙沼	気仙沼市立本吉病院	①「在宅の後方支援」、「回復期医療」 ②「今と同じ医療を担う」
石巻・登米 ・気仙沼	登米市立豊里病院	①慢性期疾患を対象としたプライマリケアを中心としているが、救急告示病院でもあることから、地域の初期救急から慢性期までを担っている。訪問診療などの在宅医療や、特別養護老人ホームの配置医も引き受けるなど、可能な限り地域ニーズに応える地域密着型の医療を担っている。 ②現在の医療体制を継続していく。
石巻・登米 ・気仙沼	南三陸病院	①南三陸町唯一の入院機能（一般40床・療養50床）を持ち2次救急医療機関・輪番制当番病院として南三陸地域の救急を担うとともに病院に隣接した総合ケアセンターとともに保健・福祉と密接に連携しながら業務にあたっている。また、外来診療においては内科、外科、整形外科等を含む10診療科及び透析20床となっている。 ②リハビリ機能を強化し在宅復帰率の向上を目指す。